

学校法人敬心学園 日本福祉教育専門学校

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会 議事録

日 時：令和5年11月22日（水）13:00～14:30

場 所：日本福祉教育専門学校 本校舎7階 172教室

出席者：（委員）

松山 慎司 （社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会）

肥後 義道 （府中市役所）

行成 裕一郎（特定非営利活動法人エナジー本舗）

岡田 望希 （医療法人社団桜尚会 さくら歯科口腔外科クリニック）

※岡田氏は別日に意見聴取

（学校）

大谷 修 （日本福祉教育専門学校 校長）

岸本 光正（日本福祉教育専門学校 副校長）

東 康祐 （日本福祉教育専門学校 学生副部長）

吉田 智哉（日本福祉教育専門学校 事務次長）

小山 郁子（日本福祉教育専門学校 事務局長補佐）

後藤 健 （日本福祉教育専門学校 学務課・書記）

（敬称略）

【議題】

1. 大谷校長挨拶

新型コロナウイルス感染症が収束してきた中、先日4年振りに同窓会を開催したところ、予想以上の同窓生が集まり絆の強さに感激した。

卒業生は学校にとっての財産であり、学校がさらに発展していくために、卒業生との関係をより強くしていきたいと考えている。

2. 委員紹介・委員長選任

委員長の選出を諮ったところ、満場一致で松山慎司氏が委員長に選任された。

3. 重点目標について

「卒業生とのリレーション構築を強化するには」

現状、同窓会は OB・OG に任せている側面があるため、今後は学校も組織的に関わって運営していきたい。

卒業生も在校生も教職員も一緒になって学び、他職種とも繋がる学校に再構成したいと考えており、学校と卒業生が一緒になって業界を盛り上げていく取り組みを行いたい。

<委員からのご意見等>

- ・同窓会の内容や開催方法等を工夫する。

例.) 2 部構成にしてみる。(1 部：講演会、シンポジウム等、2 部：交流会)

例.) 業界で有名な方をゲストに招き、日々の仕事に活かせる演題で講演会を行う。

例.) 同窓会の招待状を A4 用紙を折らないかたちで送ると目につきやすい。

- ・同窓会という学校全体の単位だけでなく、「クラス (学科)」や「所有資格」といった小さい単位を軸にリレーションを強めてネットワークを拡大していく。

例.) 社会福祉士系学科で展開している「ソーシャルワーク実践研究会」や、精神保健福祉士系学科で展開している「OB・OG 会」、また、言語聴覚療法学科で展開している「SLHT 研究会」から相互連携を図る

例.) 現メンバーのメーリングリストを活用して、アンケートを発信したり、未加入の同期生へネットワークを広げるよう促したりする。

廃科になっている卒業生・修了生への対応も検討してほしい。

- ・他学科ともつながりを持てる仕掛け（プラットフォーム）を作る。
- ・在校生が卒業後に別の資格を目指したくなるような「W ライセンス」「リスキルアップ」への動機づけを行う。

例.) 介護福祉士として 5 年間実務経験を積むと、ケアマネージャーの受験資格を得られるように、キャリア形成を考える分岐点で学校が相談の場としての役割を果たせるのではないかな。

例.) 卒業生が、理学療法士・作業療法士等の資格取得を目指し、敬心学園の他校へ入学する等、卒業生のリスキルアップを学校法人全体で支える取り組みをすることが必要であるとともに、系列校の卒業生の交流も必要ではないかな。

- ・クリニックに勤務している言語聴覚士としては、理学療法士や作業療法士との”横のつながり”（ネットワーク）ができることは喜ばしい。
- ・保育士や幼稚園教諭と言語聴覚士が連携できると、例えば、言語聴覚士の目線から、発達の遅れのある園児に対して取ってほしい対応を伝えることができる。
- ・卒業生への情報発信を紙媒体だけでなくデジタル化させる。

例.) 在校時に付与する学生用メールアドレスや SNS を活用する。

- ・卒業生の連絡先を卒業後に取得することはなかなか難しいため、卒業時に収集する。卒業するタイミングからネットワーク作りをした方がよい。

- ・実習地訪問の際に、実習先にいる卒業生と連絡先を交換する。
- ・卒業生向けポータルサイト（情報発信サイト）を設置して、登録を促す。
- ・福祉業界は人材が定着しないことや人手不足であることが課題と感じていることが多いため、求人情報の提供など情報の集約点としての役割を学校が果たせると思う。
人材を他業界へ流出させないためにも学校が情報の集約点になることは有効である。
- ・経験豊かな卒業生も多く、他職種とも協働している卒業生もいるため、発信できる情報は多いと思う。
- ・学校主催で他の専門職による研修を行ってみても面白い。
例.) 社労士による税制度解説
- ・管理職向けにマネジメント研修を体系的に学びたいというニーズはある。
- ・フリーランスや起業・集客・経営等の講座は、直接興味がある場合だけでなく、情報収集の一環として受けるだけでも、自身の専門職としての働き方を見直すことができる。
- ・実習指導者講習会を精神保健福祉士だけでなく、社会福祉士にも展開できないか。卒後教育としての位置づけだけでなく、卒業生との関係構築としても有効である。

4. 令和4年度及び令和5年度の学校 KPI について

令和4年度 KPI (国家試験合格率、退学除籍率、定員充足率、就職率) の達成状況、及び、令和5年度の KPI の目標値について報告された。

5. 終わりに

第2回委員会を令和6年3月に開催する。今回いただいた意見を元に、重点目標に対する取り組みを計画し、計画内容や実施状況について第2回委員会の中で報告する。

以上

(文責：日本福祉教育専門学校 後藤 健)